

2012年を代表する傑作小説が早くも誕生!!

# 『ホームグラウンド』はらだみずき (本の雑誌社)

「一人でも多くの読者に読んで欲しい!!」と書店員からの推薦コメントが集まっています!!

この作品の素晴らしいところは、最初の1ページからラストの1行まで、ずっと幸せな気持ちで読み続けられるところである。

私はこういう小説を読みかかったのです。感動が体の底からふつふつと沸いてくるような、そんな作品。

啓文社商品部 児玉憲宗

今、勇気がなくて一步を踏み出せずにいる誰かにこの小説を贈りたい。

希望の光と幸運がたくさん落ちているこの小説を読んで欲しい。

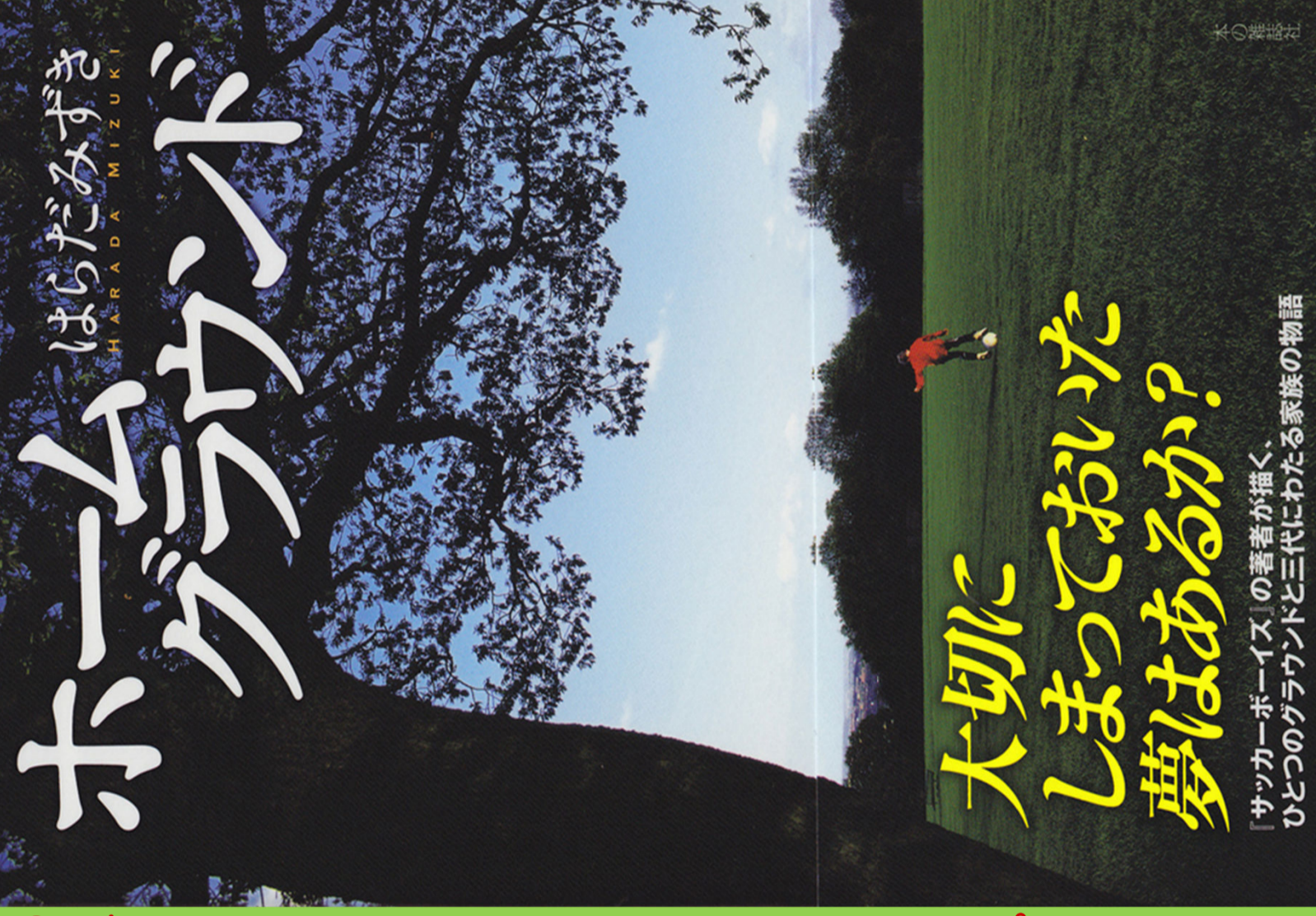
明日の光を見つげるために。夢を形にする力を育てるために。

精文館書店中島新町店 久田かおり

読み終えたいまホームグラウンドという言葉の意味をゆっくり味わっている。

あなたの、私の、それぞれが持つホーム。出来ることならばこのまま、夕映えの芝生の上でいつまでも寝ころがっていたい。そんな、家族小説だ。

三省堂書店新横浜店 比嘉栄



サッカー小説、家族小説、でもそれだけじゃない。読んでいてふと気づきました。ああ、これは「つながっていく物語」なんだ。想いも、記憶も、命も、ぜんぶ、つながっているからこそ素晴らしいのです。

私もこの気持ちをだれかにつなげたい。

啓文堂書店多摩センター店 西ヶ谷由佳

なんだかとても暖かい気持ちになれる、やさしい物語でした。

素足で柔らかい芝生を上を駆けていくような爽快感と、その足元の芝生の心地よさ。

こんなに素直に物語に入り込めたのは久しぶりです。

芝生小説一位は伊達ではないです (笑)

宮脇書店西淀川店 砂川昌広

読み終わると号泣した後のスッキリ感と心がほわっと温まる感動とが同時に湧いてきてとても幸せな気分になりました。

紀伊國屋書店梅田本店 小泉真規子